

# 自治連 たま

■発行 多摩市自治連合会  
 ■編集 自治連広報委員  
 (事務局) 多摩市役所  
 コミュニティ・生活課内  
 〒206-8666 多摩市関戸六丁目12番地1  
 TEL 042(338)6892 FAX 042(337)7660  
<https://www.city.tama.lg.jp/0000002702.html>  
 令和4年3月20日

## 会長挨拶



多摩市自治連合会  
 会長 田村 清太郎

皆様 昨年は多くのお力添えをいただき誠にありがとうございました。今年も新型コロナウイルス感染症の動向が気になるスタートになりましたが、更なる向上に向け役員一丸となって、素晴らしい多摩市づくりができればと存じます。

今年皆様様の沢山の笑顔が見れる一年になりますよう、また引き続きご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

多摩市自治連合会の行事等もなかなか難しい状況にはありますが、一日も早く新型コロナウイルスが収束し、普段の生活に戻りたいものです。それでは共に健康に留意し、コロナに負けず頑張りましょう。

## 学習会

講演テーマ  
 「市制施行50周年と多摩市の未来」

地球温暖化

市制施行50周年



- ❁ 公開期間：令和4年2月8日から同月28日17時まで
- ❁ 開催形式：YouTube動画配信
- ❁ 講師：多摩市長 阿部 裕行 氏



多摩市は、2021年11月1日に市制施行50周年を迎えました。

令和3年度の学習会は、多摩市立永山公民館ベルブホールにて開催を予定しておりましたが、令和4年1月に新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の急速な感染拡大が起きたことから、急遽開催形式を変更し、YouTube動画配信により実施しました。

既に参加のお申し込みをいただいた皆様及び参加のご検討をいただいた皆様にご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

YouTube動画配信による学習会の開催は、令和2年度にも実施しており、今回で2回目の試みとなりました。

今回の学習会は「市制施行50周年と多摩市の未来」をテーマとして、阿部市長にご講演をいただきました。

### ◆講演内容

- ・新型コロナウイルス感染症について
- ・多摩市市制施行50周年について
- ・未来を考えるうえでのキーワード  
 「地球温暖化・気候変動」  
 「誰一人取り残さない社会の実現」  
 「行政サービスのデジタル化・DX」
- ・令和4年度予算原案の概要



# 合同部会 Web会議システムに初挑戦！！

講師	宮崎 賢哉 氏 (災害支援・防災教育コーディネーター)	
テーマ	感染下の避難所運営訓練	
開催日時	令和3年11月21日 (日) 午後1時30分～午後3時30分	
開催形式	オンライン開催 (Cisco Webex Meetings)	
参加者	23団体24名 (自治会14団体15名、管理組合9団体9名)	

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う新しい生活様式を実践するため、令和3年度はWeb会議システムを活用して合同部会を開催しました！Web会議システムの利用は初の試みでしたが、皆様のご協力のおかげで無事終えることができました。ありがとうございました。

参加者に対してアンケート調査を行ったところ、24名中12名から回答をいただきました。オンライン形式での開催のご感想について伺ったところ、「思っていたよりも良かった。」が9名、「思っていたよりも悪かった。」が3名で、75%の方に良いと感じていただける結果となりました。今回の合同部会の結果を踏まえ、今後の事業に活かして参ります。

また、事業当日の様子を撮影した動画を“令和4年5月31日15時まで”配信しておりますので、是非ご視聴ください。

なお、YouTubeの限定公開により動画を配信しておりますので、YouTube検索エンジン等で動画名やキーワードにより検索した場合は、本動画は表示されないシステムになっております。下記の「二次元バーコードを読み取る」又は「動画URLを入力する」のいずれかの方法でご視聴ください。

### \* 視聴動画の二次元バーコード

◇多摩市自治連合会  
「合同部会」前編



◇多摩市自治連合会  
「合同部会」後編



↓ゼロ

\* 視聴動画のURL

- 多摩市自治連合会 「合同部会」 前編
- 多摩市自治連合会 「合同部会」 後編

<https://youtu.be/PF0dKpZDgso>

<https://youtu.be/SSd8Su-eVAK>



## 瓜生小地区防災連絡会主催

# 瓜生小避難所運営訓練



11月14日(日)に瓜生小学校を指定避難所とする地域の自治会及び管理組合、自主防災会等17団体で構成する瓜生小地区防災連絡会(代表:安藤弘喜)主催の避難所運営訓練が行われました。

避難所運営訓練は毎年11月に実施され、今回は避難者の受付対応訓練と簡易パーティションや簡易トイレ、スタンドパイプの組み立て給水訓練が行われました。参加者は各団体からの参加者の他、市の防災安全課職員、消防署職員、社会福祉協議会職員も含め、合わせて121名でした。

瓜生小学校校長先生のご挨拶のあと、各団体から避難所運営スタッフとして参加した本部員は、当日その場で役割分担が決められ、訓練が進められましたが、本部員の大半はお互いに顔が見える関係となっていたこともあって訓練開始からわずか1時間半で4つの訓練をすべて終了した後、防災安全課及び多摩消防署職員から講評をいただきました。

毎年1回、定期的に避難所運営訓練を積み重ねてきたことで、以前に比べて格段にスムーズに避難所運営が出来るようになりました。

避難所では原則、団体単位での受付対応が基本で、避難所運営も地区防災連絡会による自主的運営が求められています。そのため、こうした訓練の機会をもとより隔月に開催される定例会の場を通して各団体運営委員が顔の見える関係作りを進め、いざというときに備えることが大事であることを改めて認識させられた今回の訓練でした。

今後も引き続き災害発生時のいざというときに備え、瓜生小地区防災連絡会は各団体における地域の自主防災活動を前提として、大災害発生時の避難所運営がスムーズに出来るよう継続して訓練を積み重ねて行く予定です。



瓜生小の校庭で  
全体朝礼



スタンドパイプ  
給水操作訓練



簡易トイレの  
組み立て訓練



# おかわりありませんかコール



## 桜ヶ丘三丁目自治会みどり会

桜ヶ丘三丁目自治会みどり会では、6年前からヘルプカードシステムを構築し、毎年「おかわりありませんかコール」を実施してきました。これは、災害を想定して要援護者登録をした方に、その後の変化を問い合わせるもので、現在では累計43名の方に対し、ヘルプカードを保管している人が訪問・電話などで、年ごとの変化を問い合わせています。

ヘルプカードは、災害時を想定して作成しました。調査票は詳しく記載し、本人の決めた場所（玄関の下駄箱の中、固定電話の横など）に置きます。保管者の持つヘルプカードは当初調査票並みの詳しくさを持っていましたが、極力記載事項を減らして個人情報が出ないように工夫してきました。調査票の保管場所だけは外せません。ヘルプカードは原則3名の保管者がそれぞれ保管し、いざというときに開封して調査票のある場所を確認して被害状況に応じた対策を講じます。

令和3年度は、11月20日の防災対策委員会を締切日として10月からこの取組を始めました。この6年間の間に亡くなられた方（103歳まで長寿を全うされた方も亡くなられました）、転居された方、施設に入所された方などがあり、また、遠方に暮らしていた娘夫婦と同居することになり、ヘルプカードを返上された方もいました。令和3年11月20日現在、23名の方がヘルプカードの対象となっています。

「この9月に100歳の誕生日を迎えて元気」「2か月間入院されていましたが、退院されてお元気です」「お変わりありません」などの報告を40名の保管者から、主にメールで、数件お電話でいただきました。

今後の課題としては、「高齢化が進行する中、新たにこのシステムに登録したい方をアンケートなどで再度募集し、新たにヘルプカードを保管していただく方を増員して保管していただくこと」があります。

## ヘルプカードシステムとは…



## ～導入にあたって検討したこと～

当自治会の防災対策委員会では、広域災害の発生時に要援護者に対してどのように援助したら良いのか検討してきました。大震災発生時には、援助する側も同様に被災しており、発生時間帯によっては桜ヶ丘3丁目に不在の場合もあります。また、援助者として位置づけられた方の精神的負担も大きく、さらにその人が不在の場合のための補佐の人を探すことを考えると、特定の人を援助者に指定するのではなく、そのときに地域で助けられる人が集まって援助する方式が現実的と考え、その方法を模索してきました。

地域の複数人での援助体制を具現化する場合の重要な課題は、個人情報の取扱いでした。援助避難の方法を個別に検討するには、要援護者の健康状況や生活状況など、多くの個人情報に接しなければなりません。

しかし、事前にこの個人情報を第三者が管理するには、守秘義務を守りながら被災時に的確に活用する難しさがあり、要援助者には守秘管理に関する不安から、情報開示ができない事情も生じていました。

議論を重ねた結果、個人情報をヘルプカード（通常個人情報）と調査票（極秘個人）の2つに分けて保管する「ヘルプカードシステム」を構築しました。

## 調査票とヘルプカードのフォーマット

↓ 調査票

氏名		性別	年齢	住所
氏名	性別	年齢	住所	電話番号
住所	電話番号	緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先
緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先

↓ ヘルプカード

氏名		性別	年齢	住所
氏名	性別	年齢	住所	電話番号
住所	電話番号	緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先
緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先	緊急連絡先



# 令和4年度 定期総会のご案内

## 【定期総会】

開催日：令和4年6月4日（土）  
会 場：多摩永山情報教育センター 講堂  
時 間：午後1時～3時

新型コロナウイルス感染症の感染状況に  
応じて、中止又は開催方法の変更をする  
可能性がございます。  
あらかじめご了承くださいようお願い  
申し上げます。

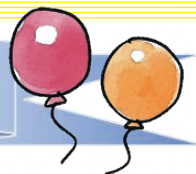
## 【懇親会】

開催日：令和4年6月4日（土）  
会 場：多摩永山情報教育センター 7階 展望レストラン  
時 間：午後3時～4時  
会 費：3,000円



\* 詳細については、団体代表者様宛に後日お知らせいたします。

## 多摩市自治連合会に加入しませんか？



多摩市に設立の届出をされている自治会・町会・管理組合のうち112団体が多摩市自治連合会に加入しています。当会では、地域の団体の皆様とともにスポーツレクリエーションや学習会など幅広い活動を行っています。自治会や管理組合など単独の団体では対応が難しい課題も他の団体等と交流を深めることにより実現可能となることもあります。

是非、多摩市自治連合会へのご加入をご検討いただき、地域活動の促進や地域課題への取組など様々な問題に、共に取り組んで参りましょう！！

## 自治会・管理組合の災害時の備えに関する

## アンケート調査を実施しました!!

多摩市自治連合会では、自治会・管理組合における災害発生時に備えた自主防災活動の現状取組について、現状の活動実態を把握し調査結果の情報共有を図ると共に参考となる活動事例を紹介し、各自治会・管理組合の活動支援に結び付ける狙いから、多摩市自治連合会加盟の自治会・管理組合対象にアンケート調査を2月に実施しました。

アンケート調査対象は、多摩市自治連合会に加盟している自治会・管理組合の計112団体で、調査項目は5項目計51問あります。

### <調査項目>

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1) 自主防災関連の組織について | 2) 自主防災活動状況について |
| 3) 災害発生時の対応について  | 4) 自主防災備品について   |
| 5) 見守り活動について     |                 |

今回アンケート調査結果は3月末までに回答集計作業と集計結果に基づく課題抽出及び分析と取り組み好事例の詳細についての取材を行います。その後、多摩市自治連合会加盟団体にフィードバックし、情報共有と活用を図ります。

アンケートは5ページに渡り、ボリュームのある内容となりましたが、ご回答にご協力いただきました自治会・管理組合の皆様、本当にありがとうございました！！

## 消防団員募集中!



防災の中心的な役割を担う消防団活動に、ぜひご参加ください。▷対象：18～54歳の市内在住・在勤・在学者（女性・学生大歓迎）▷待遇：報酬・手当、災害補償、表彰・退職報奨金・資格取得費用助成・学生消防団員活動認証制度あり、制服等貸与 ▷問合せ：防災安全課 ☎(338)6802

## 編集後記

今回の自治連たまはコロナ禍のもと、最後を飾る「学習会」の取り組みが、年明けからのオミクロン株の蔓延で、当初は皆さんに集まっていた予定が、急遽オンライン配信に変更せざるを得なくなったことが残念でなりません。

そういった中でも感染対策に気を配りながら活動を継続されておられる自治会・管理組合の取り組みに敬意を表します。

一日も早く感染拡大が収束することを願いつつ、新年度を迎えたいと思います。

(菊川・中島)